

花園公民館だより



令和2年度 8月号

やっと長い梅雨が明けました。これまで新型コロナウイルス感染症や九州地方をはじめとする日本各地で大雨による甚大な被害が起こっています。生活不安や心を痛めることの多い日々となっています。日頃から自分の命は自ら守るということを念頭におき、生活様式の改善や行動実践をしていくことの重要性を感じています。私たち一人一人の意識と行動力が感染拡大の防止や災害時での「命を守る」ことの一步となると思います。この機会に自助・共助にも個人と地域社会のかかわりに着目するときであると考えます。公民館での活動が「マスクの着用・手の消毒・適切な距離の確保」の徹底や部屋環境の維持（換気）を守ることで充実したものになるようご理解とご協力をお願いします。

暦はもう8月（葉月）です。旧暦の8月は現在の9月頃だそうです。季節は秋です。秋は「葉が落ちる月」が「葉落ち着き」になり「葉月」となったという説や、稲穂が張ることから「穂張り月」から「張り月」そして「葉月」になったという説などがあるそうです。

現在の8月は、旧暦とは異なり真夏です。暑い日が続きます。充実した日々を送るために新型コロナウイルスの感染拡大防止と熱中症への対策をしっかりと行いましょう。花園公民館から新型コロナウイルス感染症や熱中症が出ないよう職員と利用者が一体となって取り組んでいきましょう。

～今年度初の主催事業を開催しました。～

【はじめてのスマホ：基本操作と災害対策アプリ】

高齢者を対象とした事業を7月22日（水）に行いました。7月2日の受付開始日には電話が殺到して1時間ぐらいで定員に達する程の人気がありました。

今日、IT関連技術は日々進化しています。特に携帯電話の進化は早く、電話、メール、LINE、写真、電子決済、アプリなどの機能や用語も多種多様化しています。知っていると便利なこともたくさんありますが、説明書を読むだけでは理解が難しいという声が聞こえます。今回の講座では、スマホの基本的な操作を押さえ、脳トレアプリを活用して操作技術を習得したり、音声入力やインターネットでの情報収集の仕方を学んだりしました。また、災害対策アプリを実際に体験することで、スマホが災害時にも役立つことを学習しました。

受講者のご感想

- ・何もかも初めてだったので、楽しく理解できた。
- ・わかりやすい説明で大満足です。
- ・大変参考になりました。
- ・コロナ対策がよくできていて、安心して学べました。



【主催事業の様子】



■ 8月・9月の主催行事の予定

— 8月—

【子どもチャレンジ】

18日（火）「万華鏡を作ろう」

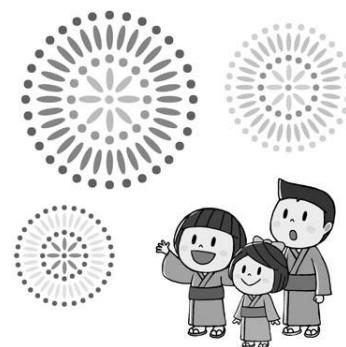
19日（水）「たのしい英会話」

【花園チャレンジ大学】

28日（金）「ローズウィンドウ作り」

— 9月—

26日（土）「大賀ハス 2000年を超えた夢とロマン」



災害時の公民館の役割について

千葉市公民館は地震による被害や大雨・暴風警報、土砂災害警戒情報等が発表され、避難者がある場合には地域の避難所としての役割を果たします。

自主避難をする場合、右記のものを各世帯や個人で用意してください。

注：公民館駐車場は9台しか止められません。徒歩での来館をお願いします。

- 水や食料(最低3日分)
- タオルケット等
- 洗面道具
- マスク
- 着替え
- 手の消毒アルコール
- 懐中電灯など

※公民館に避難備蓄品がありますが一時的なもので数が多くありません。

避難所として使う前に、日頃から家族で以下のことを確認しておきましょう。
「避難をしなければならない場合、できるだけ親せきや知り合いの所に避難する。」

※避難所は込み合うことが予想されます（特に新型コロナウイルス感染症が収束しない限り感染拡大が心配されます）。